

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		職員の知識・技能の習得に差があり、統一したケアの提供ができていない	職員が利用者一人一人に合ったケアができる技能を得る	職員のスキルアップに向け、各自の習熟の度合いに合わせて研修を行う。	12ヶ月
2		運営推進会議を開催することが目的となっており、毎回ホームの現状や活動報告で終始しており内容に変化がない	認知症の理解と認知症ケアにおけるグループホームの役割りを運営推進会議を足掛りに広く知って頂くようにする	運営推進会議の委員とは別に参加を呼びかけていく	12ヶ月
3		重度化の対応が多くなり、本来のグループホームとしてのそれぞれの利用者に合わせた個別ケアが出来なくなっている	利用者個々の理想の暮らしが実現できるようにする	利用者それぞれの思いを細かく聞き取り、実現可能な事から実践していく	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。